

よねさとづくり通信 No.173

よねさとづくり協議会
令和6年7月1日発行



よねさとづくり協議会の
ホームページはこちら



例年より遅く梅雨入りとなりましたが、近年、7月になると各地で集中豪雨により甚大な被害が発生しています。今一度、避難に備えた準備、避難行動を点検しておきましょう。

また、これから本格的な夏を迎えます。引き続き、熱中症にも十分気をつけましょう。

地区要望などに向けて

～区長部会報告～

6月16日に区長部会が開催されました。その中で、来年度に向けた市への地区要望項目は**7月16日（火）までに**各町内会から公民館に提出するよう徹底が図られ、地区全体にわたる要望項目についても協議しました。

また、地域の担い手不足が言われる中で若者・現役世代や女性の地域参画が求められていますが、これまでの地域でのルールややり方がその支障となっていないか、今後、当事者の声を集めて見直しを進めていくことが確認されました。

納涼祭が近づきました

7月20日（土）の開催に向けて、実行委員会では着々と準備を進めています。ステージでの演奏やパフォーマンスのほか、飲食バザーやゲームのブースもあります。米里音頭も盛り込み、多くの皆さんの参加をお待ちしています。

プログラム（抽選券付き）は10日（水）に全戸配付の予定ですが、今年も暑い中での準備・開催となることが予想されますので、開始時刻を昨年より1時間遅らせます。米里地区の皆さんの交流の場として、お誘い合わせの上、おいでください。



地域と学校をつなぐ活動に協力ください



創立百周年を記念し地域の有志の寄付で建立された銅像（平成2年）小学校玄関前に設置

今年度より、米里地区も「地域学校協働活動推進事業」に参加しています。これは、学校、家庭、地域が同じ目標のために協力し、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えながら、「学校を核とした地域づくり」を図る取組みです。

その中での推進員の主な役割は、①学校運営協議会へ参画し地域と学校の情報共有をする ②地域と学校の連携を図るための人材の掘り起こしと活動を継続するための人づくりを進める ③地域と学校の重要な案件について教育委員会とのつなぎ役をする、など、地域の皆さんの協力なしではできません。現在、水泳の授業中にプール監視のボランティアをお願いしているところです。

この活動により、今の子どもたちが身近な大人の姿を見て、人と人とのつながりや地域を大切に思う気持ちを受け継いでくれればと思います。どうぞ、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

（地域学校協働活動推進員 福田千鶴子）

町内会だより ～東雲山～

東雲山ニュータウンを紹介します。

かつては水田の広がる広大な農地でしたが、昭和の終わりごろから平成8年にかけて造成され、現在の街が出来ました。平成元年頃から家が新築され始め、徐々に戸数も増加。当初の集会所は中古バスを利用したものでしたが、平成6年に現在の建物が完成し、以後は町内会をはじめ、子供会、清雲会などの活動に積極的に利用されています。

住宅地が出来て30年以上経過し、戸数も増加。現在の町内会会員は170戸、およそ500名となっていますが、子供会会員はピーク時の60名弱から現在の20名程度に減少し、当町内会も少子高齢化が進行しつつあり、将来は、独居老人等も増加していくのではと危惧しております。今後も、地域コミュニティ活動を通じて、孤立防止や互いに助け合う体制づくりなど、住民同士の絆が深まればと希望しております。

（町内会長 野田哲也）

写真は、現在（左）と1960年頃を比較したものです



消防米里分団が訓練成果を披露



6月2日、鳥取港埠頭を会場として鳥取市消防団ポンプ操法大会が開催されました。米里分団もポンプ車操法の部に出場し、指揮者の石谷班長はじめ操作員4名と補助員1名が、それまでの訓練で培った成果を披露しました。

結果は出場16隊中10位でしたが、それぞれに仕事を持ちながら、大会に向けて日々早朝より訓練された経験は、団員の皆さんにとって自信となり、地域にとっても安心の拠りどころとなります。お疲れ様でした。